

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	健康科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	前田 直人	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
本授業では、健康に関する基礎的な知識を習得することができ、具体的には、健康とは何か、生活習慣と健康の関係、疾患予防のための運動や栄養、ストレスや睡眠の影響について学ぶ。また、医療現場における健康情報の取り扱いや健康管理の方法についても学ぶ。さらに、コミュニケーション能力を養い、健康に関する情報を患者に適切に伝えることができるようになる。これらの知識やスキルは、臨床工学技士としての将来の仕事において、患者の健康状態をより正確に把握し、的確な支援を提供するために必要不可欠である。						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了試験はプレゼンテーションや提出物などを総合的に評価したものの得点とする70%、出席評価点20%、平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料を教材とする。						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容について提示するので、各グループで自己で調べることなどを分担し、次回の授業に備えておく。						
《履修に当たっての留意点》						
健康の維持・増進を実践できる医療人を養成する目的でもあるので、自己の体調管理はもちろんのこと、クラスメイトの健康についても気遣えるよう心がけておいて欲しい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業の目的、授業内容、準備物など授業の進め方について理解し、健康とは何か？健康の状態を説明できるようにする。		配布資料	・シラバスを読み、講義内容を理解しておく。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションを行い今後の授業予定を伝え、健康科学についての概要の講義を行う。また、健康及び健康の状態についてグループワークで議論し、プレゼンテーションする。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	食事が健康に与える影響について説明できる。		配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	運動が健康に与える影響について説明できる。		配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	睡眠が健康に与える影響について説明できる。		配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレスが健康に与える影響について説明できる。		配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	疾患予防のための生活習慣について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	健康診断の意義と必要性について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	がんの予防と早期発見について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病の予防と治療について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	高血圧の予防と治療について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	喫煙が健康に与える影響について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	アルコールが健康に与える影響について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	健康格差が生じる原因とその解決方法について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康経済学と健康政策について説明できる。	配布資料	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分自身の健康管理について、具体的にどうすれば良いか説明できる。	配布資料	・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	配布資料に基づきテーマについての概要を説明する。その後、グループに分かれてそのテーマについて議論し、各グループでプレゼンテーションする。		